

Cente Technical Information

発行番号	002-0012	Rev	第1版	発行日	2012/07/05
題名	FTPdを起動させているとき、IPv6でFTPcを使用するとコマンド実行が失敗してしまう				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">•Cente IPv6 Ver.1.00 - Ver.1.43•Cente IPv6 SNMPv2 Ver.1.00 - Ver.2.13•Cente IPv6 SNMPv3 Ver.2.00 - Ver.2.13				
関連資料	なし				
<p>【該当するユーザ環境】 以下の条件を全て満たすユーザ。 ・FTPdを起動させている。 ・IPv6でFTPcを使用している。</p> <p>【障害内容】 FTPは、コマンドをやりとりするコントロールポート接続とファイルデータやファイルリストをやりとりするデータポート接続の2つのTCP接続を使います。データポート接続は、通常FTPc側が自ポートを指定して着信待ちし、FTPd側がそのポートにTCP発信して接続します。FTPcをIPv6で使用した場合、この自ポート番号が21番固定になっていました。同一システム内でFTPdを既に起動させている場合、FTPdも21番でTCP着信待ちになっているため、FTPcが着信待ちに失敗し、コマンドがエラーとなります。</p> <p>【発生理由】 FTPcが自ポートを指定してデータポートの着信待ちを行う際、コントロールポート接続で使用した宛先IPアドレス情報を利用しています。このときの処理に不備があり、IPv6アドレスだけでなく、ポート番号も参照していました。このため、コントロールポート接続の宛先ポート番号(21番)を着信待ちのポート番号として使用してしまい、前述のような症状が発生していました。</p> <p>【回避方法】 ・PASVコマンドを使用して、データポート接続もFTPcから発信する。 ・ソースコードを修正し、着信待ちの際の自ポート番号は空いているポートを使用する。(改変箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>					